

| | | | |
|------|--|-----|------------------|
| 会議名 | 第2回八名地域協議会 | | 公開 |
| 日時 | 令和5年5月18日(木) 午後7時30分～午後9時30分 | 場所 | 一鍬田公民館 2階 集会室 |
| 出席者 | (委員) 18名 蒔田正道、渡辺康雄、安形武、杉山正照、黒田実、小笠原正博、藤原章雄、加藤剛章、夏目雅彦、中西忠史、山本いづみ、井上こずえ、滝川多嘉子、浅見浩平、細田圭介、須貝裕、太田智亮、今泉静香 | | |
| | (事務局) 5名 杉本参事、近藤所長、森本主査 | | |
| 欠席者 | (委員) 1名 牧野孝彦 | 傍聴者 | なし |
| 配布資料 | 次第、【資料1】地域協議会カレンダー(案)、【資料2】地域計画、【資料3】地域自治区予算について、【資料4-1】地域自治区予算の実績、【4-2】八名(まち)づくり計画 | | |

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会

(会長) 会議成立宣言、会議録の署名依頼(蒔田委員、安形委員、了承された。)

2 公共交通の話(公共交通対策課)

(会長) 公共交通事業について、第1回目でも触れましたが、八名地域を走るでSバス中宇利線が来年度より大きく動きだそうとしている。八名地域計画の目標2番『出掛けやすい八名(まち)に』とあるので、情報共有のためにも公共交通対策課の本田さんにお話をさせていただく。

(本田) 【資料：八名地域の交通について】に沿って説明

八名地域では今年度中に中宇利線再編を考えており、新城市も令和3年度に地域公共交通計画策定し、市全体で動いている。今年4月から千郷地域は一部予約制の区域運行を千郷地区の方と考え進めている。今後もバス停を増やしたり運行方法の改善を考えて行く。また東郷地域や舟着地域や鳳来の山吉田や海老の方でも八名と同じスピードで進んでおり、地域の方が主体的に八名の交通を考える会で調査や勉強会等行い、八名地域の課題や問題点を深掘りしている状況。区長会でも説明し意見をいただいた。地域協議会でも八名地域全体で考え、みなさんが移動に困らないように一緒に考えていただきたい。

中宇利線は現在66人乗りの大型バスのため大きな通りにバス停を設置して、みなさんにバス停まで来てもらう利用方法を実施している。大型バスを利用しているのは八名小学校の通学のためもあり、中宇利線その物がその様な認識になっている。しかし高齢化が進む中、免許返納に対する対応が必要となる。

八名の変化は野田城大橋ができたこと、北山峠の開通、八名Aコープがなくなった事、スクールバスの導入。今後は通学と一般利用者との切り離しを考える。切り離すことで大型ではないハイエースを検討し、区域運行を考える。令和元年度に新城

タクシーが廃業し豊鉄タクシーに依頼しているが運転手不足により3～4台が常時稼働する程度。切り離しについては学校との調整が必須となる。デマンドで拠点へ。拠点から街中へ。地域の意見を聞きながら停留所やルートを考える。来年4月に開始させるには1月の新城公共交通会議に間に合わせる必要があり、国の申請(2ヶ月)や警察の協議などがあるので、秋ぐらいに地域の方の意見を集約したい。

3 今後のスケジュールについて資料1

(事務局) 前回に会議の開催スケジュールを決めておいた方が動きやすいとご意見をいただいたので、スケジュールの案を作成した。基本を第3火曜日に設定した。

8月第5火曜日とし、11月の建議があり、月1回の11回を開催予定で状況により回数等の変更もある。

【意見なし】

4 議事

(1) 地域計画分科会の委員選出について

(井上 分科会長) 令和3年度より八名地域計画の改定を進めており、令和5年1月に主要な部分4つの柱と11の目標の体制見直しを行い、計画の目標や内容について見直しを行い、今後も引き続き検討を行っていく。

(会長) 地域計画分科会の委員をやっていただける方は挙手をお願いします。

(会長) 令和5年度の地域計画分科会の委員構成について採決

【賛成多数 採決】

(2) 八名地域計画について資料2

(会長) 資料2の説明。12年計画のうち5年目で中期に入った。

(3) 地域自治区予算の検討について資料3・4-1・4-2

(事務局) 地域自治区予算についての説明

【グループ検討】

1. 安心して暮らしたい (6名)
2. 健やかに暮らしたい (6名)
3. 豊かに暮らしたい (6名)

【情報共有(発表)】

1. 安心して暮らしたい

(令和4年度からの引継ぎ事項)

- ・AED・消火器は継続して実施
- ・ヘリポート整備(砂の飛散予防)→年数回の使用状況なら飛散防止ネットなどの方法を考える(ネット、簡易塗装など)

(新規)

- ・庭野小学校に防犯カメラの設置
- ・Sバスの利用方法の周知
- ・防災対策を考える

2. 健やかに暮らしたい

(令和5年度事業内容)

- ・秋頃に2回程実施する健康講座について話し合った。内容については市のお出かけ講座にある「生活習慣病予防」委員さんから運動処方箋の案。ふるさと会館と一鉄田公民館の2回を実施。
- ・高齢者に対する情報発信の手段を考える。

- ・児童クラブに希望しても入れない事が多くなってきた。長期休暇に地域で受入れ体制できないか。

3. 豊かに暮らしたい

(令和4年度からの引継ぎ事項)

- ・引継ぎ事項はそのまま継続 観光マップ等

(令和6年度事業内容検討)

- ・地産地消についてのまとめ

拠点となる場所を作る(直売所)例:庭野ローソンのように直接購入し販売しているような事ができないか。

地産地消の意味をもっと砕いたらどうか。

八名で作った物が売れる中間点のような場所があってそこにSバスの利用ができるシステムの構築。

スマートインターを絡ませる。土地利用の問題点等。

歴史文化の自分たちの知らない古墳などの話も出たので、歴史文化に新たに情報等をもらい観光マップ等に共有できればいい。

5 その他

(1) 避難所運営ゲーム(HUG)の開催について資料4-1

避難所運営ゲーム(HUG)を地域協議会委員さんを中心に実施する。

(2) 次回開催

6月13日(火) 19:30～ 一畑田公民館 グループ討議